

日本一の定時制へ！教科の枠を超えた自主参加型教員研修会の定期実施

◆ 所属・提案者（◎代表者）

県立浦和高等学校定時制課程

◎齋藤 優気・岡田 直也・小島 大貴・安藤 一博

ねらい

本校では若手教員の所属数が増加している。そのため、生徒によりよい授業や学びを提供するために若手教員の「教師力」の総合的な向上が必要となった。

また、本校では学校長の指導の下、「日本一の定時制」「浦定プライド」を合言葉に様々な視点から生徒にアプローチをしている。この合言葉を具現化するために、柔軟な発想に基づいた教育実践の創造と実施が必要となった。若手教員の行動力と柔軟な発想力を原動力とし、自主参加型の教員研修会を週に1度定期的を実施し、「教師力」の向上と新たな視点からの教育実践の創造を行った。

実践内容

①週に一度の「金曜日」の実施

- ・毎週金曜の13:30に参加できる者が自主的に集まり、研修会を定期的実施した。
- ・研修会のテーマは参加者が持ち寄りで決定した。
(例) 生徒指導、授業づくり、評価、行事の検討、一般的な相談や悩み
- ・研修会の大切なポイントとして「チーム浦定。互いをリスペクトし、生徒のためにオープンマインドで！」を掲げ、経験年数や教科等に縛られない形で研修会を実施した。

生徒の「学び」と「成長」

金曜日

教科・教員歴を超えた
自主的・主体的な学び合い

「教師力」
UP!

教員間
ネットワーク

②若手教員の協調・協働による協調学習のPDCA

- ・「金曜日」において、協調学習の授業づくり・実践・評価・振り返りを実施した。
- ・互いの授業を参観し、生徒に対する声かけや教材提示、授業中の立ち振る舞いなどを意見交換し、教師力の向上に努めた。



③新たな視点からの教育実践の創造

- ・「他の定時制が行っていないこと」をひとつの視点として、本校生徒の実態と生徒への教育効果を大切にしながら、教育実践の創造を行った。
- ・既存の行事を見直すとともに、新規行事の企画・運営を行った。
(新規行事：ドイツ大使館見学・中国大使館職員による講演会等)
- ・月に一度の校外清掃活動（クリーンアップ作戦）を地域の町内会と連携して実施した。
- ・さいたま国際マラソンの給水ボランティアに参加した。
- ・「欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞」出場を手段とした生徒の連帯感の醸成と自己発揮の機会を提供した。
- ・「スタディサプリ」の導入方法や活用方法の検討と検証をした。

○毎週金曜日

○期間 4月～翌年3月

実践時期・期間

実践の成果や課題

【成果】

- 協調学習に関する取組が手段となり、若手教員の「教師力」の総合的な向上につながった。特に、若手教員が生徒の「学び」を大切にした授業実践に自信をもって取り組むことができるようになった。
- 定期的に研修を実施したことで、週ごとの目標・課題・成果を明確にした教育実践が行えた。
- 教員同士の連帯感が増した。
- 若手教員だけでなく、経験豊かな教員に関心の輪が広まり、教員同士の無理のない学び合いの雰囲気醸成された。
- 若手教員が悩みをひとりで抱えてしまうことがなくなり、チームで課題を解決する姿勢が身についた。
- 研修会を自主参加型としたことで、強制や無理が排除され、前向きなスタンスで「教師力」を向上することができた。
- 教科を超えた研修会を実施したことで、新たな視点から自らの専門教科を見つめ直す機会となった。
- 「教師力」の高まりや新たな視点からの教育実践を行ったことで生徒の意欲向上と自己発揮の機会を提供できた。
- 生徒を一層大切にするマインドセットが構築された。

【課題】

- 若手教員だけでなく、経験豊かな教員の参加をより一層促したい。
- 人事異動による「金曜会」の消滅防止対策。



失敗しないための方策

- 研修会は自主参加型とすること。
- 一方的な講義形式にするのではなく、協調・協働的に会を実施すること。

他校で導入するポイント

- 管理職や職員にねらい等を十分理解してもらうこと。
- 無理のない範囲で時間や内容の設定をすること。

セールスポイント

- 協調学習をきっかけとし、教科を超えた学び合いができる。
- 「教師力」の向上がのぞめる。
- 教員同士の連帯感と職場の前向きな雰囲気が醸成される。
- 生徒に多様なアプローチが可能となる。



こうすればより高い効果が得られる方策など

- 他校、他学科、全定の枠を超えた研修会の実施。

課題解決に向け、教員が共通理解し、協働して取り組むよさがある。
「学び続ける教員像」が求められている中で、本取組はその先導的なものといえる。
「教師力」の共通理解、効果的教員研修への追究、課題に対する専門家の招聘、成果の発信など、実践を高めるためにさらなる発展に期待したい。

外部有識者からのコメント